

「組織横断型課題対策チーム」の設置について

1 「組織横断型課題対策チーム」とは

喫緊かつ優先度の高い全庁的な政策課題に対応するため、現行の組織の枠や階級等を超え、一定期間に、問題意識や改革意識の高い人材の多様な経験・スキル・知識等を結集し、調査研究や施策の提案等を行うチームであり、通称「**クロス・ファンクショナル・チーム (CFT※)**」といいます。

※「CFT」は、**Cross Functional Team**の略で、庁内の職能・機能（ファンクション）を超えて、セクショナリズムを排し、多様な経験・スキル・知識等を流通・交流（クロス）させるという、このチームの目的・主旨をより明確に表す「クロス・ファンクショナル・チーム」という名称を通称名としました。

平成25年10月に新たに策定した『行政改革大綱』の基本理念である「経営型行政運営」の推進を図るとともに、職員の積極的な市政への参画意識の高揚、政策立案能力や企画提案能力の育成を目的としています。

2 平成26年度における「CFT」の設置について

- 設置チーム **「人口減少対策」と「地域経済活性化対策」の2チーム**
- 設置期日 平成26年10月22日
- 設置期間 **平成26年10月から平成28年3月までの約1年6か月間（予定）**
→ 今後、「CFT」からの提案等を適宜に予算や施策へ反映

チーム名	主な取組内容	チーム編成	
		構成員	摘要
【CFT-1】 人口減少対策	現状分析、既存事業の効果検証、課題整理、先進事例等の研究、目標や将来像の設定、独創的なアイデア出し（ブレインストーミング、シミュレーション）、戦略の企画立案と提案、提案内容のフォローアップなど	●各チーム 12人 ・リーダー（課長職）1人 ・サブリーダー（係長職）1人 ・メンバー（係員職）10人 ↓ 計 24人 ・課長職 2人 ・係長職 2人 ・係員職 20人（うち技術職員 3人）	● 男性職員 18人 （構成比75.0%） ● 女性職員 6人 （構成比25.0%） ● 平均年齢 32歳0月 最年少者：男性21歳、女性23歳 ● 平均勤務年数 7年11月 採用5年未満：13人（54.2%） （うちH26年度新規採用：2人）
【CFT-2】 地域経済活性化対策			
計 2チーム			

◆今回設置した「CFT」の特徴

- ①「サブリーダー」と「メンバー」は庁内公募を実施した。「リーダー」は市長が指名。
- ②公募の結果、各部からの若手職員（女性職員を含む）を中心としたチームを編成した。
→2チーム（24人）の平均年齢は32歳0月。平均勤務年数は7年11月で、うち採用5年未満は13人（54.2%）、さらにこのうち本年度の新規採用2人。なお、女性職員は6人（構成比25.0%）。
- ③チーム外に、「バックアップ」（チーム外部から必要な支援・助言を行う）を置く。
→今回設置の「CFT」では、国等への派遣職員を充て、派遣先での職務・経験・パイプ等を現在進行形で活用。
【人口減少対策CFT】 厚生労働省と（一財）地域活性化センターへの派遣職員（2人）
【地域経済活性化対策CFT】 北海道経済産業局と北海道への派遣職員（2人）